

綾部市立病院の病床数変更について

人口減少や高齢化による医療需要の変化等により、本市の実情に見合った病床規模と病床運営の適正化を図るため、病床数を見直す。

1. 理由

- 人口減少と高齢化による医療需要の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、入院、外来共に患者数が減少し、現在もコロナ禍前まで回復していない。また経営的にも厳しい病院運営が続いている。
- 医師、看護師をはじめとする医療スタッフの確保が難しくなっている。
- 今後も引き続き安定して地域医療を提供し続けるためには、現有する診療機能を低下させず地域の医療需要に合った適正な病院規模、機能への検討が必要。

2. 病床数変更内容

現在の206床から7床削減して199床とし、診療機能を低下させず、地域の医療需要に対し、柔軟に対応できる「地域密着型病院」としての病院運営を図っていく。

○病床内訳

変更前 206床（急性期病棟156床、地域包括ケア病棟50床）

変更後 199床（急性期病棟149床、地域包括ケア病棟50床）

3. 実施時期

令和7年4月1日

4. 参考

○病床利用率

年 度	病床利用率
平成30年度	86.3%
令和元年度	86.7%
令和2年度	70.8%
令和3年度	71.7%
令和4年度	66.9%
令和5年度	71.0%
令和6年度（12月末まで）	76.3%